

第4章 基本方針と基本目標

1. 基本理念

「余市町下水道中期ビジョン」の基本理念は、本町上位計画である「第5次余市町総合計画」で掲げている「未来に向けて住みやすいまちをつくる」の実現のため、安心してらせる快適な住環境の提供や次世代へつなげる良好な水環境の保全のため、持続可能な下水道を目指し、基本理念を「未来に向けて住みよいまちを支える持続可能な下水道」と定めます。

【基本理念】

未来に向けて住みよいまちを支える持続可能な下水道

2. 基本方針

「基本理念」の下で、将来にわたり良好な下水道サービスを提供し、安全で快適な町民生活や社会活動を支えていくため、本町の下水道事業の現状と課題を踏まえ、今後10年間の下水道事業の「基本方針」として以下の3つを掲げます。

【基本方針1】

「安心して暮らせる快適環境のまちづくりに貢献する下水道」

生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るとともに、浸水からまちを守り、地震被害時にも安定して機能する下水道施設の耐震化を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

浸水から街を守る



道路や住宅地等に降った雨は「雨水」として下水道（雨水管）に入り、川、海、湖に放流されます。これにより雨天時に街が浸水することを防いでいます。このように下水道は浸水から街を守る役割を担っています。

健全で良好な水環境を保全する

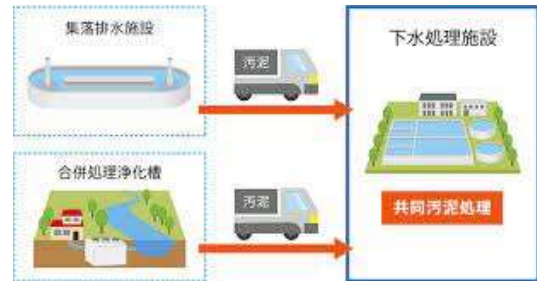
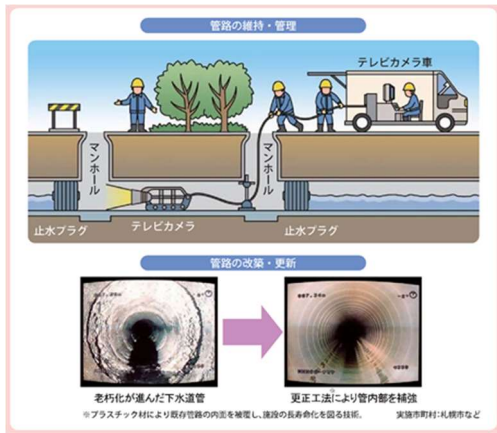


下水処理場で浄化された汚水は、きれいな水となって川、海などに放流されています。これにより、放流先での水質は良好に保たれ、多種多様な魚や虫が生息する場所となります。このように下水道は、健全で良好な水環境をつくり、生態系を保全する役割を担っています。

【基本方針2】

「持続可能な下水道機能の維持と向上」

下水道機能の維持と向上を図るため、下水道施設の適正な維持・管理に努めて、広域化・共同化を含めた最適な事業運営を検討し、持続可能な下水道サービスの提供を目指します。



広域化・共同化のイメージ図

管渠の維持管理のイメージ図

【基本方針3】

「経営基盤の強化と安定した下水道経営」

下水道を取り巻く環境が厳しい中、経営基盤の強化と透明性の向上を図り、安定した下水道経営を目指します。